

令和元年度 安全衛生講座『健康経営宣言』アンケート集計

質問	回答	回答数
① 『健康経営』認知度	知っていた	27
	知らなかった	41
	未回答	0
② 内容	とてもよく解った	56
	あまりよく解らなかった	5
	どちらでもない	7
	未回答	0
③ 講師	非常によかった	30
	良かった	34
	ふつう	3
	良くなかった	1
	未回答	0
④ 時間	長い	8
	普通	57
	短い	2
	未回答	1
	未回答	1
⑤ 総合評価	とても参考になった	53
	あまり参考にならなかった	5
	どちらでもない	8
	未回答	2

◆ 参加者数

参加者	82
回答者	68
回答率	83%

◇ 回答者の職種別内訳

職種	教育職員	16
	技術職員	12
	事務職員	34
	学生	1
	その他(学外者)	4
	未回答	1
合計		68人

【今後取り上げて欲しいことについて。】

《テーマ》

- メンタルヘルス
- 「適応障害」対応,対策
- メンタルヘルス,大学での実践事例
例えば、犯罪者,薬物常習者の心理。興味本位ではなく、目的は撲滅。そのために学ぶ。
- 心理学
- 職場の組織の在り方
- 睡眠障害,食文化,食生活,生活習慣病

《講演者》

- 名越 康文先生
- 長崎県出身のスポーツ選手や芸術家・経営者（音楽,美術,パフォーマーなど）

【 アンケートによる感想コメント 】

- 成人が毎日労働する以上、疲労や頭痛、腰痛は致し方ない事なのかとあきらめていたが、企業が率先して改善していく時代なのだと初めて知りました。まずは、自分の体は自分で大事にしていこうと思いました。本学でもぜひ導入して頂きたいです。
- 気軽に参加できそうな工夫された具体例を挙げていただいたので参考になった。
- トップダウンとボトムアップ、使い分けが必要ですね。
- 社内で様々なセミナーや活動を行われていて、とても参考になりました。時間外でのセミナーでも人が集まるのがすごいなあと思いました。
- 具体的な取り組みを紹介していただき興味深かった。
- とてもためになる内容でした。ありがとうございました。
- 取り組みの実際の紹介、ポスター参考になります。
- 押しつけない、強制しない部分には感心しました。
- 実践事例などを通して、効果があるのを確認することができた。
- ヘルスリテラシーの作り出しが重要なことは再度理解できた。
- 細かい事がとても参考になりました。
- 今後の取組の参考にさせていただきます。ありがとうございました。
- 目的の取り方が良かった。具体的な事にアプローチしている事により広く人を集めることとかにつながっていると思った。アプローチの種類も色々と考えられると感じた。
- 経営の部分をもう少し聞きたかった。
- ひとりひとりの身体面のケースはよくわかりました。上下、ヨコ、ワークファミリーといった 2 人以外のコミュニケーションに関するストレスケアの面のお話を聞きたいと思いました。
アニマルセラピーのビジネス面における効果もあるように感じています。
Eメールで詳しくお伝えしたいと思います。ありがとうございました。
- 方法論みたいなことを聞かせてもらった。
- 健康損失額算出アンケートに興味を持った。プレゼンティーズムによる経済損失の算出方法が知りたかった。(どうしてあんなに効果があがるのか、不思議に思った。)

- 大学の学長,理事などの経営に関わる人に聞かせた方がいいと思った。
- 健康経営について学ぶことができたが、成果指標をどのように表すのか難しいと思われる。資料が少なく見えないところもあった。
- 面白かった。何かしら取り組めることを始めたい。
- 具体的な事例が多くあったので、興味が持てました。特にピンポイントのポスターが良いと思いました。
- 健康に対する意識がやや変わった。
- 少しずつでよいので、健康経営に取り組んでいただけるとよいなと思いました。また、若い人の方が、ワークライフバランスの意識は高いと思いますが、年齢が上の方の意識を変えていくことも同時に必要かと思いました。(組織の平均年齢も DeNA とは異なるなと思いましたので)
- 管理職,上層部の方にも、是非 理解をして頂きたい。
- 健康経営の必要性が良く理解できました。